

植樹式 2003



時の蘇生・柿の木プロジェクト

2月28日		十津川村立西川中学校(2012年に閉校) 1 日本・奈良県・吉野郡
3月27日		アダム・ライゼ小学校 2 ドイツ・バード・シュタッフエルシュタイン
3月30日		クローラー・ミュラー美術館 3 オランダ・オッテルロ
4月13日		ジョージア総主教庁 ゼグビ・チルドレンセンター 4 ジョージア・ゼグビ
5月16日		マルグレイブスクール 5 カナダ・ウエストバンクーバー
2月20日		大垣市立西中学校 日本・岐阜県・大垣市
3月3日		大垣市立西部中学校 日本・岐阜県・大垣市
3月3日		大垣市立赤坂中学校 日本・岐阜県・大垣市
3月4日		大垣市立日新小学校 日本・岐阜県・大垣市
3月11日		大垣市立静里小学校 日本・岐阜県・大垣市
		大垣市立興文小学校 日本・岐阜県・大垣市

十津川村立西川中学校（2012年に閉校）

🇯🇵 日本



奈良県・吉野郡



2003年2月28日

十津川村は奈良県吉野郡を流れる十津川沿いにある自然豊かな村です。また西川中学校は、先生方をはじめ、一つの“家族”のようで仲が良く、素晴らしい大自然の環境の中、みんな、楽しく生活しています。この年卒業する3年生10名は修学旅行で長崎原爆記念館を訪れ平和の大切さを感じていました。2001年に高知県立美術館で柿の木プロジェクトの展覧会を見た中嶋雄二先生は生徒たちの卒業記念として、柿の木プロジェクト参加の申し込みをしました。

植樹式は近所の住民の方々と中学校の全校生徒の約50名が参加。同校の音楽講師のサクソ演奏が響く中、卒業する3年生の生徒たちの手によって校庭に柿の木が植樹されました。植樹後、校庭のコンクリートの壁に絵の具で柿の実を描きました。この壁画の一筆一筆が「平和への気持ちを純粋に身近な表現として残していく」という気持ちが伝わってきて、ともに一つの大き



な意味のあることを成し得たと感じる植樹式でした。素晴らしい笑顔で自由に楽しく壁画を描く子どもたちの姿はとても印象的でした。



2008年7月

29日、西川中学校で植樹5周年記念イベントが行われました。夕方からあいにくの大雨になり、やむを得ずコンサートは体育館の中で行うことになりました。しかし、雨の中、近所や保護者の人達が大勢参加し、ライトアップされた柿の木のもとに集まってくれました。約1時間、河野正孝さんと大阪芸術大学の演奏学科の学生による木管楽器の演奏をみんなで楽しみました。

西川中学校は2011年に廃校になることが正式に決定しています。植樹10年目にはもうこの学校がなくなってしまいます。そのため、10周年祭は1年早く2012年に計画されています。

西川中学校は2012年3月に廃校となりました。

アダム・ライゼ小学校

 ドイツ

 バート・シュタッフエルシュタイン

 2003年3月27日

ソーラーパワーの会社を経営されているウド・モルステッドさんから2000年の7月に植樹申し込が届きました。それから2年ほど、柿の木プロジェクトを理解してもらう為、ウドさんとのやりとりが続きました。ウドさんは地元の小学校と交渉を重ね、アダム・ライゼ小学校にプロジェクトを理解してもらい、3年越しの植樹が実現しました。小学校ではさまざまな教科の先生方が授業の中で柿の木週間をつくり、植樹式に備えて準備をしてくださいました。植樹式当日、アダム・ライゼ小学校の子どもたちがこの日のために練習してきたパフォーマンスを披露しました。このイベントに参加した人誰もがとても心を動かされた素晴らしい植樹式となりました。

今回の植樹は、イラク危機、イラク戦争の脅威の中で行われました。先生も生徒も柿の木プロジェクトをととてもよく理解し、みんな平和への思いをよりいっそう強く感じた植樹でした。その後柿の木は順調に大きくなり、2008年には柿の実をつけたという報告もきています。

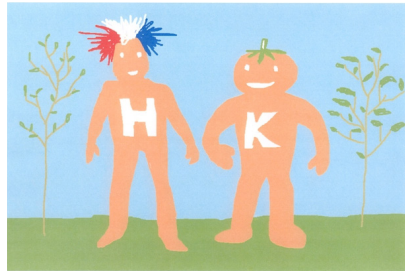


クローラー・ミュラー美術館

 オランダ

 オッテルロー

 2003年3月30日



2000年7月にクローラー・ミュラー美術館のヤープ・ブレイマーさんが来日し、柿の木プロジェクトへ参加したいとの申し出あり、そこからクローラー・ミュラー美術館での柿の木プロジェクトはスタートしました。

2001年4月7日～7月8日に、クローラー・ミュラー美術館で開催された「生きる/Be Alive, 1980年～現代まで、日本の現代美術」展に柿の木プロジェクトとして参加しました。その時展覧会で展示していた柿の木の苗木は当初2002年の3月に美術館内にある彫刻庭園の敷地に植樹予定でした。しかし、苗木が環境の変化に耐えきれず弱っていたため、美術館は再度植樹を検討し、1年間、柿の木を大切に保護し、2003年の3月に植樹式を行うことになりました。

植樹式はゴッホ生誕150年祭に併せて行われ、素晴らしい天気のもと、美術館の柿の木担当者であるピエットさんとエディーさんが日本人の家族を招き、彫刻の庭のとても良い場所に柿の木を植樹しました。



ジョージア総主教庁 ゼグビ・チルドレンセンター

 ジョージア

 ゼグビ

 2003年4月13日

グルジアは西アジアのコーカサス地方に位置しており、有史以前よりさまざまな民族が行き交うシルクロードの要所。西は黒海に面し、北と東はロシア、南東はアゼルバイジャン、南はアルメニアとトルコに接しています。ブドウの生産国、またワインの発祥地としても有名です。

イギリス・グロウスターのアーティスト、ブルース・アレンさん（イギリス・グロウスターで、2002年3月15日に柿の木プロジェクトを実施）、ノビーさんがグルジアのチョコさんにプロジェクトを紹介したことが、今回

のグルジアでの植樹と繋がっていきました。チョコさん、マリナ・キャティアビリさんが申し込みをしてくれました。

植樹場所は海拔600メートルの小高い丘にあるチルドレン・センター（両親のいない子どものための施設）のすぐ近くの場所です。みんなは日本から届く「被爆2世の柿の木」を心待ちにしてくれて、空港で苗木を受け取ったときの写真をすぐにメールで送ってくれました。幼い時に両親を失いつらい日々を過ごしたチルドレン・

センターの子どもたちが頑張って素晴らしい植樹式にしてくれました。子どもたちはやせ細った馬が引く荷車の上に乗って、日本から到着した被爆柿とともに数十本の苗木も乗せ、大きな目で子どもたちを見つめている茶色い毛をしたヤギ、そして大きなハスキー犬2、3匹を一緒に載せて、植物園からトビリシ市外の植樹場所のム

ツヘタまでの数マイルの道のりをみんなで歌を歌いながら進んで行きました。途中、かわいい小さなロバを連れた友達も一緒に加わりました。ブラスバンドの子どもたちは、使い古したチューバとトロンボーンを小さな胸

で一生懸命に吹いてくれました。ミルクがかった青空と灰色の山並みと丘のいちばん上にあるジュワリ教会に囲まれながら、無垢で生気にあふれたイベントになりました。（現地担当者アンテアさんの報告から一部抜粋）

植樹式では、現地柿の木プロジェクト担当者のママカ・ジャパリディチさん（1999年ベネチアビエンナーレ、グルジア代表アーティスト）が、子どもたちのためのワークショップを行ってくれました。



マルグレイブスクール

 カナダ



ウェストバンクーバー



2003年5月16日

現地事務局担当者のリカルダ・マクドナルドさんは終始笑顔のとてもタフで情熱家のアーティストです。2001年3月、柿の木は無事、カナダのバンクーバーに到着し、すぐにポッドに借り植えました。



2001年5月10日、リカルダ・マクドナルドさんは北バンクーバーのフロム小学校で6年生と7年生の29



人を対象としたワークショップを実施しました。柿の木プロジェクトを紹介し、子どもたち

と一緒に柿の木のことを俳句に詠んだり、柿の実おりがみを現地に住んでいた日本人の小川元子さんにも手伝ってもらい折りました。このとき、柿の木はポットに植えていたのですが、とても元気がよく、芽が出てきそうな様子でした。

当初2002年3月に植樹予定だったのですが、現地事務局のリカルダさんとようやく植樹場所に決まった、マルグレイブ学校が行事で忙しくなり、延期となりました。その間、地元のガーデナーさんに柿の木は預かってもらいました。その後、

紆余曲折ありましたが、リカルダさんの努力が実り、2003年3月に無事、マルグレイブ学校で植樹式を行えるようになりました。しかし、またしてもこの3月、中東でイラク戦争が始まり、植樹式は5月16日まで延期となります。日本から出席予定だった実行委員は渡航が難しくなり、結局式典には出席できませんでした。申し込み当初から協力いただいた小川元子さんが残念なことに病気のため亡くなりました。2003年5月16日の植樹式には元子さんの友人たちが参加し、柿の木はウェストバンクーバーによく根をおろすことができました。

2005年6月、カナダのコリンウッドスクールの植樹式参加のときにマルグレイブ学校を訪問しました。今回の訪問には、小川元子さんのご家族、友人の実行委員も同行し、リカルダさんと親交を深めることができました。柿の木は日当たりの良い場所に植樹されていて、元気いっぱいすくすくと成長しています。

